

# 〈ケア〉を考える会 (第115回)

■日時：2017年 11月12日 (日) 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2  
山科駅より東 徒歩3~4分の民家  
(山添 宅) (安朱保育園 東隣)

■当日のたまかな予定

13:00 ⇒ 有志集合…会場準備等

13:30~ ⇒ 学びの会/読書対話

15:30頃~ ⇒ 懇親会(笑いヨガ/音楽演奏も)

17:00~17:30 ⇒ 片付け、終了

(その後で、名残惜しコーヒータイム?)

■内容

(1) 読書対話…次の本をもとに対話します

## 『都市と野生の思考』

鷺田清一/山極寿一 著(インターナショナル新書)



(2) 懇親会…食べながら飲みながら語り合います(持ち込み歓迎)

★懇親会参加者で実費(1000円程度)ご負担願います

★申し込み・問い合わせ⇒ 林まで：[884michiya@gmail.com](mailto:884michiya@gmail.com) 090-5366-1497

★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。先着20名程度。

哲学者にして京都市立芸芸大学長の鷺田清一と、ゴリラ研究の世界的権威にして京都大学総長の山極寿一による対談。旧知の二人が、リーダーシップのあり方、古い、家族、衣食住の起源と進化、教養の本質など、さまざまな今日的テーマを熱く論じる。京都を舞台に、都市の思考と野生の思考をぶつけ合った対話は、人間の来し方行く末を見据える文明論となった。

鷺田清一 Washida Kiyokazu

山極寿一 Yamagiwa Juichi

## 都市と野生の思考



鷺田清一  
山極寿一

わたしたちはじぶんのいのちが他のいのちとの交換のなかにあることを知らされる。

(鷺田清一『古い空白』P.227)

ひととひととの関係において重要なのは、各人が主体的にどのようにしようとしているかではなくて、いつとはなしにお互いが心を開いてしまっているという事態である。

(池上哲司『傍らにあること』P.169)

おたがいの言葉を手がかりに考える時間をもつこと、確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う。「考え」でなく、「考え方」をお互い共有してゆく。

対話には結論はありません。プロセスをゆたかにできなくては。

(長田弘『なつかしい時間』P.191)

「〈ケア〉を考える会」ホームページ  
<http://care-kyoto.jimdo.com/>

「〈ケア〉を考える会-岡山」  
<http://okayama-care.jimdo.com/>